

インドネシア

アチェ河緊急河川改修事業



アチェ河河口

[借款概要]

承諾額/実行額	4,659百万円 / 2,821百万円
借款契約調印	1983年10月
借款契約条件	金利3.0%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1991年7月

[事業概要]

スマトラ島西端に位置するアチェ河に対し、河口よりインドラプリまで約45kmの河川改修及び新放水路約12kmの建設を行うことより、アチェ特別州の州都バンダ・アチェ市を含む約90km²の地域を洪水被害から守るもの。

[評価結果]

本事業対象地域では、当時毎年アチェ河の洪水により市街地、農地ともに深刻な浸水被害を受けており、緊急な対策が必要とされていた。本事業により河川改修を行い、続いて実施された第2期事業により放水路の建設などが行われた。

本事業が1993年に完成して以降、50年確率洪水の降水量を記録した2000年を除き、対象地域での浸水被害は生じておらず、住民のインタビュー調査においても、大半が農業の安定化などを通じ、地域経済の活性化に貢献していると回答している。

一方、下流域では土砂堆積、中・上流域では河床低下が進行しており、堤防等の施設への影響も見られる。このまま放置されれば、本事業による治水効果が低下する懸念もあるため、適切な維持管理を行う必要がある。

なお、本事業により建設された施設は中央政府から地方政府に移管されており、必要な維持管理予算の確保が今後の課題である。